

銀漢亭日録



伊藤伊那男

6月7日(日)▼四時前に目がさめる。時鳥の声しきり。雉子の声も。六時、清人さん迎えに来てくれて亀山山頂へドライブ。快晴の気仙沼を一望。カモシカがいる。光明寺に寄り、宿へ戻って朝食。九時半、畠山、清水氏と車二台で矢越山へ。今日は畠山さんの「森は海の恋人植樹祭」の予定がコロナで中止。ただし、十日ほど前、ごく内輪で植樹するとして声を掛けていただいたもの。新聞社の取材を含めて三十人位。三浦組合長のもと十本の苗木を植える。(森に札幌に札して苗木植う 伊那男)あと十人ほどで舞根の畠山さんの養殖場へ行き、昼食。振舞っていたいた帆立の刺身が何とも見事。美味。次のNHK朝の連続テレビ小説のディレクター梶原登城さん一行も一緒。気仙沼が舞台となる。あと、「気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館」に入館。元水産高校の跡地で、まざまざと震災の痕跡を見え。十七時、今日の宿「大鍋屋」へ入る。元防衛大臣小野寺さんの実家。近くの銀漢会員、斎藤克之さん(元「亀の湯」)を訪ねる。十八時、「あさひ館」にて夕食。

8日(月)▼九時過ぎの大船渡線にて一ノ関。バスにて平泉。中尊寺、毛越寺を巡る。観光客ほとんどおらず、森閑。金色堂、毛越寺の庭園の浄土に感激。昼は蕎麦。十七時前の新幹線にて東京へ。

9日(火)▼「あ・ん・ど・ウクリニク」、買い物など。「銀漢」七月号の校正。明日までとて没頭。三日ほど留守をしたので、郵便物など大変。「梶の葉句会」選句。「たかなん」主宰吉田千嘉子さんより「然々と」の勉強会をしたら好評で、「銀漢」「知命なほ」についても要望あり、とて、二冊送る。

10日(水)▼十時、水道橋。武田、志水、いづみ、展枝さんと待ち合わせ。先日見た三崎町物件で移転の方向へ。六坪から九坪へ。十三時、毎日新聞の今井竜さんと「俳句てふてふ」の打ち合わせ。私の連載エッセイは「俳句万華鏡」の題に決定。あと中華料理の「三幸園」で久々歓談。昼酒にまた乗り越し寸前。「大倉句会」選句。

11日(木)▼久々、農家の野菜買う。茄子、トマトなど出はじめている。唐沢句集序文の校正。発行所候補のトレース確認(いづみさん)。主宰仲間の「白熱句会」へ十句。「銀漢本部句会(ネット)」へ五句投句。

12日(金)▼俳人協会新会員推薦の件、杉阪、武田氏と打ち合わせ。手配を杉阪氏に依頼。八月号のエッセイ。自句自解、盤水の一句など書く。散歩。そろそろ梅雨入りか。新発行所、三崎町で決定す。

13日(土)▼梅雨突入。「春耕」へ十句投句。麦さんに手持ち現金の月次報告。通信数々。「早蕨句会」選句を坪井さんに。作句。

14日(日)▼「井月顕彰会」の北村皆雄氏より、今年の「井月さんまつり」は中止となったが、ユーチューブで座談会をやりたいので出て欲しいと。さて、パソコンを触ったことない私である……。山田真砂年さんより鍵和田柚子先生、十一日の夜逝去された。飯田真理子句集「魚水に上る」上梓。夕食、近所のU太さん一家来て会食。

15日(月)▼梅雨の晴れ間。散策少々と買い物ほか雑用。「極句会」選句。「銀漢本部句会」選句。「俳句あるふあ 夏号」で「サヨナラ銀漢亭」と題して三頁写真入りを掲載してくれる。有難し。

16日(火)▼散歩。砧方面。炎暑。少々昼寝など。主宰仲間の「白熱句会」の選句を「りいの」主宰檜山哲彦氏へ送る。

17日(水)▼今日も梅雨晴れ。栗がもう青い毬を付けている。農家の野菜、空志菜が出ている。トマトも。「ひまわり句会」選句。「高遠句会」選句。「銀漢句会」出句。

18日(木)▼終日家。午睡など。こういう生活は久しぶり。テレビで「老人と海」を見る。伊那北高校同窓会誌に俳句送る。

19日(金)▼東京都の休業要請協力金ようやく入金。「難句会」選句。先日、気仙沼行った仲間で句会。

20日(土)▼二日酔い。酒を抜くための散歩。買い物。「銀漢本部句会」選句。

21日(日)▼泊江方面へ散歩。駅前で一万歩越えたので、バスで戻る。留守中に坪井さん、近江の鮎山椒煮届けてくれる。杏一家来て、父の日の集い。十三人。父親は計三人。孫が手作りのケーキ二種。

22日(月)▼雨の日。「銀漢」八月号の選句。「銀漢本部句会」の各人一句を武井さんに送る。

23日(火)▼「萩句会」選句。花栗さんに送る。梅雨晴れ間、散歩、買い物など。「彩の国句会」選句を大野田さんに送る。

24日(水)▼終日家。「銀漢」八月号選句。今日は昼寝などとして少々怠慢か……。

25日(木)▼散歩がてら農家の野菜買いに。「童夢句会」選句し湖重さんへ送る。日録をこしまほさんへ送る。

26日(金)▼晴れ。散歩と買い物。今日は海鞘、とこぶしなど。風聞では、神田すずらん通り商店街の老舗「キッチン南海」、満州餃

子「スキートボーツ」も閉店になると。何ということか！ コロナ禍の傷は深い。八月号の選句稿、花栗、直、妙子さんへ送る。

27日(土)▼散歩。野菜買う。今井聖さんより「街」誌同人評の依頼あり。夕方、家族は友人の家へ。久々、一人の夕食。とこぶしの酒蒸、海鞘と胡瓜など。

28日(日)▼同人集選評を朽木さん、会員評を大溝さんに投函。伶輔君、「ライオンキング」の集中レッスン。家で一番忙しい。

29日(月)▼八月号の原稿の目処が立ち、一日空いたので、日帰りの一人旅へ。天気良し。九時過ぎには宇都宮駅に降り立つ。初めての町。まず二荒山神社へ参拝。九十五の石段の上。芽の輪を潜る。喫茶店のモーニングサービスで町の地図など調べる。御橋から宇都宮城趾へ入る。戊辰戦争、昭和二十年の大空襲で壊滅。近頃、本丸跡だけ復元。「カトリック松が峰教会」の大谷石の聖堂を見て、バスにて「大谷資料館」。大谷寺の岩壁に刻んだ千手観音は圧巻。バスにて駅に戻り、「宇都宮みんなの」の餃子定食(焼餃子二人前と水餃子一人前と御飯のセット)とビールで小さな旅を締め。土産に十五人前の冷凍餃子。十九時前に帰宅。

30日(火)▼都知事選期日前投票。買物。戻る頃雨に。娘達が父の日として冷風送風機をくれる。

7月1日(水)▼彗星集選句選評を美紗さんに送り、八月号終了。「鎌倉句会」「宙句会」選句。「十六夜句会」は事前投句。

2日(木)▼七時半から散歩。伶輔が蚕を飼いだしたので、桑を摘む。華子が焼茄子好物にて十本焼く。十九時、神田、「十六夜句会」に出席。十一人。あと親睦会。少々酒に酔う。